

目次

- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード (味覚編)
- 3 あそびうた けんけん
- 4 今月の詩 雲 山村暮鳥
- 5 たし算 2の段
- 6 ことわざ 骨折り損のくたびれもうけ ちりも積もって山となる
虻蜂取らず あまり物に福がある
- 7 かけ算 3の段
- 8 俳句 松尾芭蕉 与謝蕪村 夏目成美
- 9 かぞえうた 1枚 1面 1足 (皿、鏡、くつ)
- 10 なぞなぞ
- 11 手あそびうた たまごたまご
- 12 音の絵本 ひばり ハト ニワトリ 犬 牛 馬
- 13 イメージストーリー リード君 (第2話 リード君道を歩く)
(イメージしてみましよう)
- 14 今月のうた 道路を渡ろう
- 15 おはなし おむすびころりん
- 16 童謡 金太郎
- 17 漢詩 春夜洛城に笛を聞く
- 18 百人一首 参議篁 俊恵法師 持統天皇 喜撰法師
- 19 復習コーナー
- 20 暗示 (静かなところで目を閉じて聞きましょう)

《けんけん》

りょうあし
両足そろえて ドンドンジャンプ
みぎあし
右足 あげて けんけんけん
まえ
前にむかって 一 二 三
ひだり
左にむかって 一 二 三
ひだりあし
左足 あげて けんけんけん
まえ
前にむかって 一 二 三
うし
後ろにむかって 一 二 三
さあ できたかな





やまむら ぼちよう
山村暮鳥

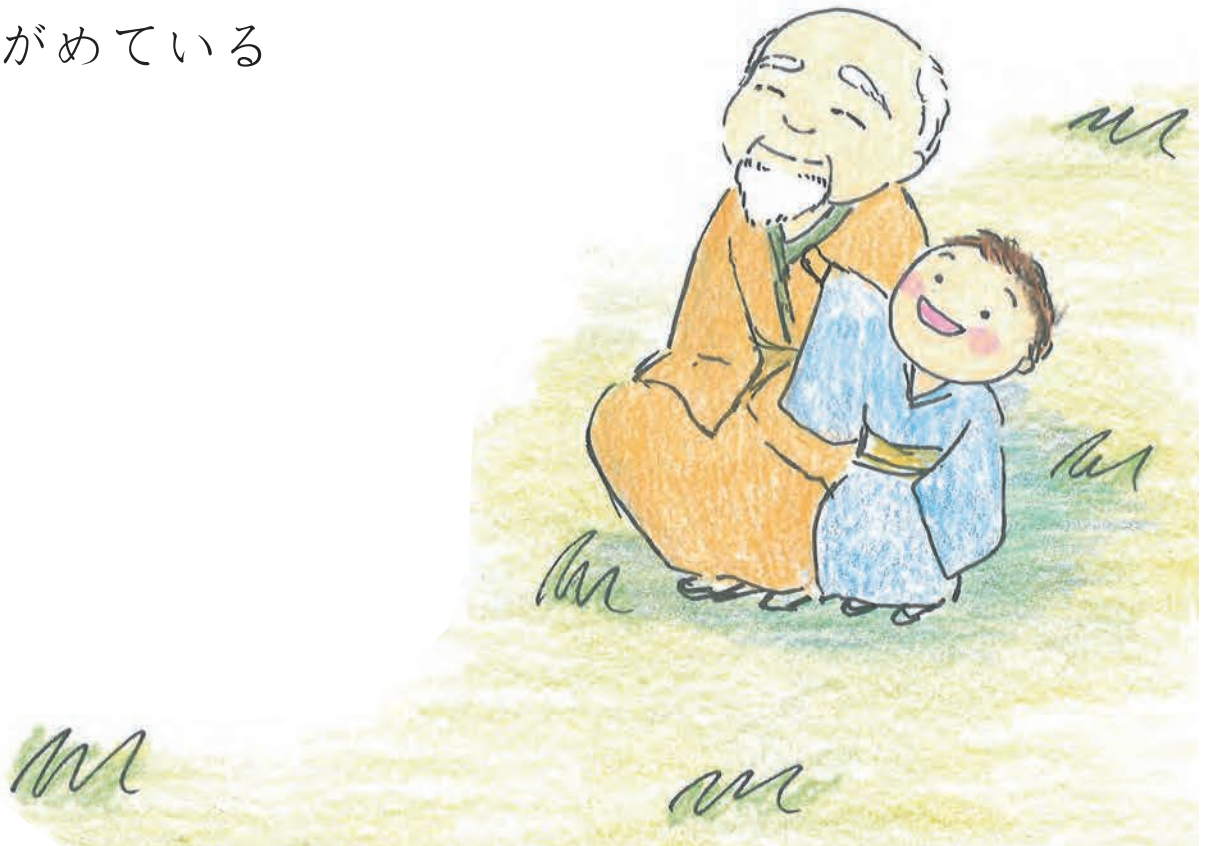
おか うえ
丘の上で

としよりと

こどもと

うっとりくもと雲を

ながめている



ことわざ

ほね お そん
骨折り損のくたびれもうけ

あれこれ苦勞したのに、何の效果もないこと。



つ やま
ちりも積もって山となる

わずかなものでもたくさん積み重なると、大きなものになる。



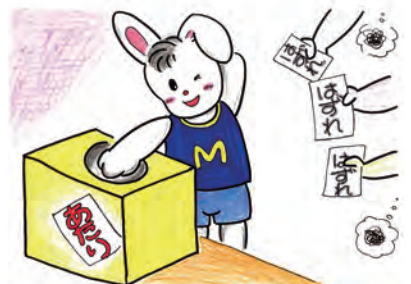
あぶはち と
虻蜂取らず

同時に二つのものを手に入れようと欲を出したが、
両方ともとれない。



もの ふく
あまり物に福がある

残った物の中には、かえって思わぬ良い物がある。



俳句

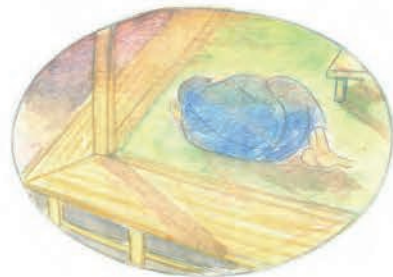
くたびれて ^{やど}宿かる ^{ころ}頃や ^{ふじ}藤の ^{はな}花

^{まつ}松 ^お尾 ^{ばし}芭蕉 ^{しょう}



うたた寝の ^ね ^{さむ}さむれば ^{はる}春の ^ひ日くれたり

^よ与 ^さ謝 ^ぶ蕪 ^{そん}村



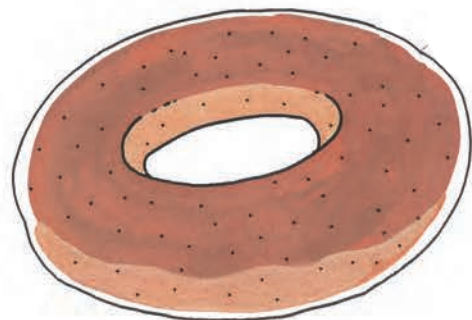
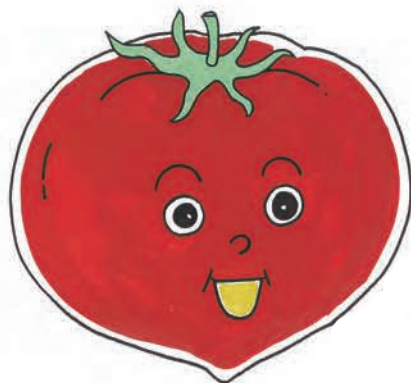
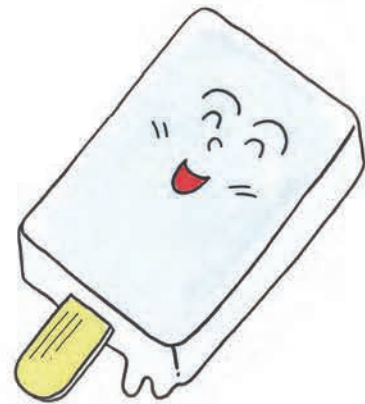
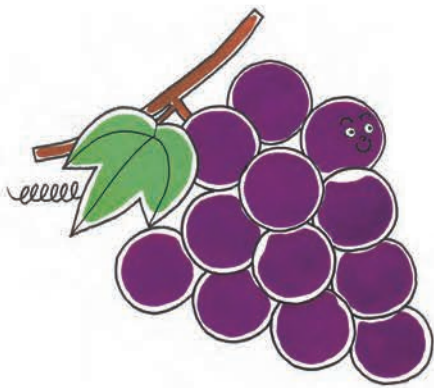
^{おほろよ}朧夜や ^{きちじ}吉次を ^と泊めし ^{わん}腕の ^{おと}音

^{なつ}夏 ^め目 ^{せい}成 ^び美



なぜなぜ

- 1 ひとつの枝に丸いものがたくさんついた果物なあに？
- 2 つめたいところが好きで、暑いととけてしまう、甘くて冷たい食べ物なあに？
- 3 上から読んでも下から読んでも同じ、赤い食べ物はなあに？
- 4 真ん中に穴があいている丸い食べ物なあに？



《たまごたまご》

① たまごたまごが



りょう^て手で、たまご^{かたち}の形をつくり
上^{うへ}の手と下^{した}の手をいれかえる

② パチンとわれて



手をぱちんとたたいて前^{まえ}で大きく
円^{えん}を描くようにをぐるっとまわす

③ なかから



みぎ^て手をグーにして
むねのまえ

④ ひよこが



ひだり^て手もグーにして
むねのまえ

⑤ ピヨピヨピヨ



りょう^て手を3回
ぱくぱくする

⑥ まあ かわいい



手をほほにつけ、からだを
みぎひだりにゆらす

⑦ ピヨピヨピヨ



りょう^て手を3回
ぱくぱくする

音の絵本

今月は、いろいろな動物たちです。

- 1) ひばり
- 2) ハト
- 3) ニワトリ
- 4) ^{いぬ}犬
- 5) ^{うし}牛
- 6) ^{うま}馬



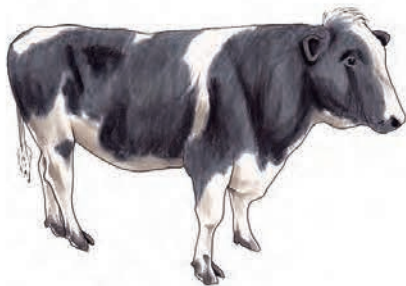
ハト



うま
馬



ひばり



うし
牛



ニワトリ



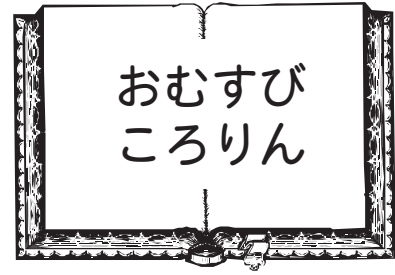
いぬ
犬

《道路を渡ろう》

すごいスピード　すごいサウンド
自動車いっぱい
渡りたいのに　渡れない
そんなとき　そんなとき　どうするの
あたりをぐるっと　みわたせば
かならず見つかる　信号機
みんなの安全　守ってる
赤（ストップ）　とまって　がまん
黄色（ウエイト）　もうすぐかわる　気をつけよう
青（ゴー）
手をあげて　右見て　左見て　さあ渡ろうよ
じょうずに　できたかな



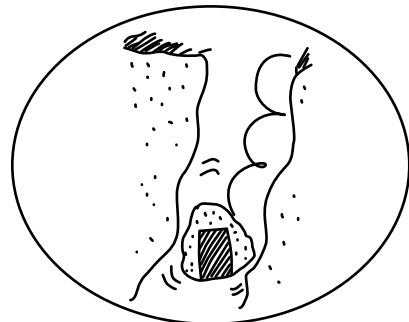
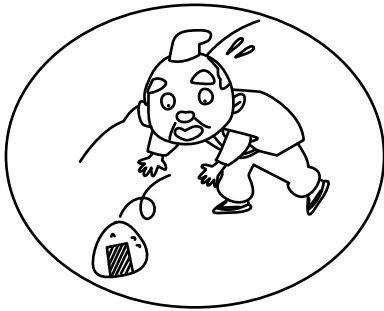
おはなし



「おむすびころりん」は、おじいさんとねずみたちの
お話です。

お話を聞いた後で、質問にこたえてみましょう。

- 1 おじいさんがお昼ご飯にしようとした時、なにがおきましたか？
- 2 おじいさんが穴をのぞくと何が聞こえてきましたか？
- 3 おじいさんが落ちた場所はどんなところでしたか？
- 4 穴に落ちてしまったおじいさんは、穴の中にいたねずみたちとなにをしましたか？
- 5 おじいさんが帰る時、ねずみは何をくれましたか？



春夜しゅんや洛城らくじょうに笛ふえを聞きく

李り 白はく

誰たが家いえの玉笛ぎよくてきぞ 暗あんに声こえを飛とばす
散さんじて春風しゅんふうに入いりて 洛城らくじょうに満みつ
此この夜よ 曲中きょくちゆう 折柳せつりゆうを聞きく
何人なんびとか 故園こえんの情じようを起おこさざらん



百人一首

わたの原はら
八島のしま
十島かけて
人には告げよ
漕ぎ出でぬと
海人の釣舟

(参議 篁)

夜もすがら
物思ふころは
明けやらで
つれなかりけり

(俊恵法師)

春過ぎて
夏来にけらし
白妙の香具山
衣ほすてふ
天の香具山

(持統天皇)

わが庵は
都のたつみ
世をうぢ山と
しかぞ住む
人はいふなり

(喜撰法師)



参議 篁